

室蘭工業大学の人事に関する基本方針

令和4年10月6日制定

国立大学法人室蘭工業大学は、円滑かつ継続的な法人経営を行うにあたって、教員・職員の適切な年代構成の実現及びダイバーシティ推進等の観点から、以下のとおり人事の基本方針を定め、必要な取組みを行うとともに、社会情勢等に応じてフォローアップを行う。

<教員>

1. 教員採用は原則として公募によること及び定年退職教員の後任に40歳未満の教員（以下「若手教員」という。）を積極的に採用することとし、毎年度、人事計画を策定する。
2. 採用計画ごとに、教育・研究等について具体的な基準（特に研究は、当該分野の全国的水準を考慮する。）を設定し、採用の際は明確にこの基準を満たす人材の確保に努める。
3. 教員評価制度や年俸制、クロスアポイントメント制度、女性限定公募等を活用して組織の活性化を図るとともに、ダイバーシティを推進し、若手、女性、外国人、企業出身等の各教員比率の向上を目指す。
本学における次世代育成支援及び女性活躍推進のための事業主行動計画に定める女性教員比率に係る数値目標の早期実現を目指すとともに、外国人、企業出身等の教員比率についても、状況を分析し、適宜目標を設定する。
4. 均衡ある年代構成を理想とし、具体的な年代構成割合の目標を以下のとおり定め、令和20年代前半以降の実現を目指す。また、中期的な目標として、令和9年度末までに40歳未満の教員の割合22%以上を目指す。

（理想的な教員の年代構成割合）

40歳未満：26%、40歳以上50歳未満：28%、50歳以上60歳未満：28%、
60歳以上：18%

<職員>

1. 職員採用は、北海道地区国立大学法人等職員統一採用試験及び独自採用試験によることとし、他機関との人事交流や内部人材の管理職への登用、業績評価等を活用して組織の活性化を図る。また、ダイバーシティを推進し、女性、障害者、企業出身等の多様な人材の確保に努める。
2. 均衡ある年代構成を理想とし、具体的な年代構成割合の目標を以下のとおり定め、早期の実現を目指す。

（理想的な職員の年代構成割合）

40歳未満：45%、40歳以上50歳未満：25%、50歳以上60歳未満：20%、
60歳以上：10%